

## 「 身近な人・地域の方とふれ合おう 」

本単元で育成する資質・能力

根拠をもとにした思考・判断・表現力

主体性

自己効力感・郷土愛

## 1 単元について

本校の総合的な学習の時間の目標は「自分の生活と地域の事象との関わりなどについて、探求的な学習を通して、他者や社会との関わりを深めながら、多面的に追求する方法を身に付け、そこにある問題を主体的に見出し、仲間と協力して解決するとともに、地域（ふるさと）のよさに気づき、よりよい生活を創り出すことや自己の生き方などを考えようとする。」である。第6学年では、「地域と福祉」を学習課題として設定した。自分が住んでいる地域の公共施設「老人ホーム」に関心を持ち、福祉の観点から自分達にできる課題を発見し調べる探究活動を通して、協働性を養う。そして、これから高齢化社会を迎える中で自分の育った地域「北広島町」における自分の役割を考える。このように小学校生活のまとめとして自己の生き方について見つめ直す機会を設けることでふるさとの思いを育てることができる単元である。

本単元は、最初に、これまでの総合的な学習の時間で学んだことを振り返り、学校生活の中で自分達のために関わった方が多くいることを気付かせる。次に、公共施設「老人ホーム」から訪問の依頼を受け、お年寄りの方と触れ合うことにより福祉への関心を持たせ、地域貢献で恩返しする気持ちを育てる。また、お年寄りや公共施設「老人ホーム」の方々との関わりを通して福祉について職業観を養うこともできる単元である。

指導にあたっては、他教科との関連を重視して、実感が伴う資質・能力の育成を図りたい。例えば、社会科学習指導要領の第6学年の内容(2)ア「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること。」イ「日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていること。」に関連させ、社会保障について高齢者の福祉政策の事業が深い関わりを持って営まれていることを学び、生活の保障を感じさせたいと考えている。また、家庭科学習指導要領の第6学年の内容A家庭生活と家族(3)イ「近隣の人々との関わりを考え、自分の家庭生活を工夫すること。」に関連させ核家族や高齢化社会が進む現状を理解し、家庭生活が家族の協力だけでなく、近隣の人々との関わりで成り立っていることを理解することができる。そして、国語科学習指導要領の第5学年および第6学年の内容B書くこと(1)ア「考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を整理すること。」に関連させ、本単元で学んだことや感じたことなどを新聞などに要約し学校内や地域に発信する活動へ結び付けていきたい。

そして、資質・能力の育成では、福祉に触れる活動を通して、課題へ挑み続ける主体性を探究活動や体験活動で養い、教科で学習したことを根拠に思考・判断・表現をさせることにより高齢化社会や町の福祉政策の現状を理解したいと考えている。学ぶ過程の中で地域の人との関わりや協働的な活動を通して、自己効力感や職業観を養っていききたいと考えている。

- 2 目標 自分達が住んでいる地域の公共施設（養護老人ホーム）に関心を持ち、自分達にできる福祉の観点から課題を発見し、探究活動を行う中で、自分の生まれ育った地域「ふるさと」における、これからの自分の果たすべき役割や自己の生き方について考えることができる。

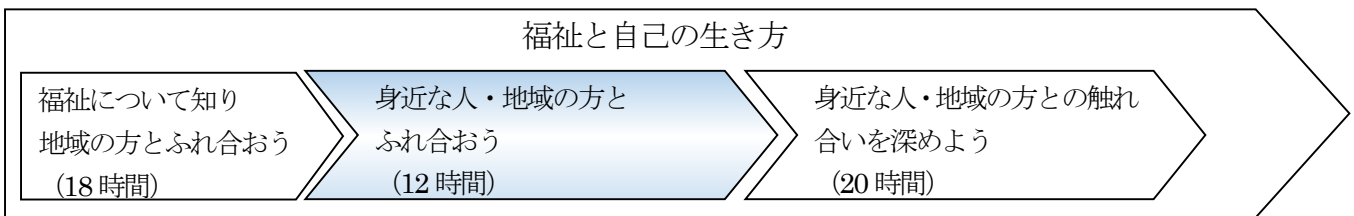
### 3 評価の観点

スキル	意欲・態度	価値観・倫理観
根拠をもとにした思考・判断・表現力	主体性	自己効力感・郷土愛
①具体的な解決のための計画や修正を行うことができる。 ②既習した内容や体験した事実に向けて考えることができる。 ③目的や意図に応じて、効果的に表現することができる。	①課題解決に向けて、目的意識をもち、自分なりの方法を考えて取り組むことができる。 ②養護老人ホームの職員の仕事内容に関心を示し、自分から積極的に質問を投げかけたり、仕事の様子を観察したりすることができる。	①協働する喜びや大切さを感じ、人々の工夫や努力に気付き、自分との関わりの視点から、仲間や地域の方々と共に学ぶことができる。 ②交流会や課外授業を通して、職員の工夫や努力に気付き、相手の立場に立って行動することの大切さに気付くことができる。

### 4 評価の方法

- ・発表や話し合いの様子、学習や活動の状況などの観察による評価
- ・学習活動の過程や成果などの記録や作品（レポート、ワークシート、ノート、作文、論文、絵など）を計画的に集積したポートフォリオによる評価
- ・一定の課題の中で身に付けた力を用いて活動することによるパフォーマンス評価
- ・評価カードや学習記録などによる児童の自己評価や相互評価
- ・ゲストティーチャー（GT）による他者評価

### 5 単元の流れ（全50時間）



### 6 小単元計画（4/12時間）

学習活動	指導上の留意点	評価規準【資質・能力】
<b>課題の設定（2）</b>  1 老人ホームでの交流会を行った感想を出し合い、次の課題をもたせる。 ・交流前と交流後の自分の気持ちの変化を整理し交流する。 ・KJ法を活用して、交流会で上手くいった点や改善点を出し合う。	○訪問前と後の自分の気持ちの変化を書きとめ、グループで交流する。 ○交流活動を振り返り、自分達の考えた遊びの上手くいった点と改善点を出し合わせる。	<b>【意欲・態度】</b> ①課題解決に向けて、目的意識をもち、自分なりの方法を考えて取り組むことができる。  <b>【スキル】</b> ②既習した内容や体験した事実に向けて考えることができる。
<b>情報の収集、整理・分析、実行（8）</b>  2 入居者の方々とより良く関わるためにはどのようにすれば良いか考え、情報収集する。 ・養護老人ホームで働いておられる職員の方々の、	○交流活動で一緒に過ごした職員	<b>【スキル】</b> ①具体的な解決のための計画

<p>入居者の方との関わり方の工夫について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の方々に聞いてみたい疑問を挙げ、インタビューの計画を立てる。</li> <li>・課外授業の依頼をする。</li> </ul> <p><b>3 養護老人ホームの職員の方をGTに迎えて、話を聴く。(本時)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の方に、北広島町の少子高齢化事情を話していただき、今後の課題について考える。</li> <li>・職員の方に、仕事を行う上での工夫や喜び、気を付けていること等を話していただく。</li> <li>・職員の方に質問をさせていただき、理解を深める。</li> </ul> <p><b>4 GTの話を通して学んだことをまとめる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GTの話を通して学んだことや、質問して分かったことについて、Yチャートを使ってまとめる。</li> <li>・まとめをふり返り、さらに座標軸を使い実行性や伝えやすさなど項目を示し、自分達にできることについて考える。</li> </ul> <p><b>5 今後の交流活動の計画を立てる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことを生かし、次回の交流会に向けてグループごとに計画を立てる。</li> </ul>	<p>の方々の行動や、入居者の方への声掛け等に着目させる。</p> <p>○職員の方々の工夫や努力を想像させながら考えさせる。</p> <p>○今と昔の人口分布の推移を知ると共に、10数年後の北広島町の様子を想像させる。</p> <p>○年齢の離れたお年寄りとの関わり方の工夫を学ぶ。</p> <p>○交流活動を体験して感じた疑問を、質問を通して解決させる。</p> <p>○職員の方のお話から、それまで自分達が気付かなかった工夫や発見をまとめさせる。</p> <p>○Yチャートの視点を「交流」「まちづくり」「仕事」の3つに絞る。</p> <p>○自分達にもできる工夫や、アイデアはないか考えさせ、座標軸を使い考える。</p> <p>○改善し、更に良いものにできるよう、収集した情報を活用させる。</p>	<p>や修正を行うことができる。</p> <p><b>【価値観・倫理観】</b></p> <p>①協働する喜びや大切さを感じ、人々の工夫や努力に気が付き、自分との関わり方の視点から、仲間や地域の方々と共に学ぶことができる。</p> <p><b>【スキル】</b></p> <p>②既習した内容や体験した事実を目を向けて考えることができる。</p> <p><b>【価値観・倫理観】</b></p> <p>②交流会や課外授業を通して、職員の工夫や努力に気が付き、相手の立場に立って行動することの大切さに気付くことができる。</p> <p><b>【主体性】</b></p> <p>②養護老人ホームの職員の仕事内容に関心を示し、自分から積極的に質問を投げかけたり、仕事の様子を観察したりすることができる。</p> <p>①課題解決に向けて、目的意識をもち、自分なりの方法を考え取り組むことができる。</p> <p><b>【スキル】</b></p> <p>①具体的な解決のための計画や修正を行うことができる。</p>
<p><b>まとめ・創造・表現 (2)</b></p> <p><b>6 振り返りと次の活動の見通しをもつ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの活動を振り返り、次の交流活動の見通しをもたせる。</li> </ul>	<p>○これまでに学んだことを自己評価で振り返り、次回の交流会に生かすために学びを記録させる。</p>	<p><b>【スキル】</b></p> <p>③目的や意図に応じて、効果的に表現することができる。</p>

## (1) 本時の目標

GTの話を通して、職員の方々が仕事を行う上での工夫や喜び、普段気を付けていることを知り、理解を深めることができる。

## (2) 評価規準

交流会や課外授業を通して、職員の工夫や努力に気づき、相手の立場に立って行動することの大切さに気付くことができる。

【価値観・倫理観】

## (3) 準備物

ワークシート

## (4) 学習の展開

	学習活動 (○) , 児童の反応 (・)	指導上の留意点◇ ◆配慮を要する児童への指導 の手立て	評価規準 資質・能力 (★) (評価方法)
つかむ・見通す	<p><b>1 既習内容を振り返る。</b> ○交流会中に、職員の方々の行動や声掛け内容を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視線を合わせて話をされていた。</li> <li>・声が聞こえにくいお年寄りにも伝わりやすくなるように、話す速さや音量に気配りが見られた。</li> <li>・職員の方に、仕事を行う上での工夫や喜び、気を付けていること等を教えていただく視点をもたせる。</li> </ul> <p><b>2 めあてを確認する。</b></p> <p>養護老人ホームの職員の方々の、工夫や努力を学ぼう。</p>	◇交流会の様子を写した写真等を見て、簡単に活動を振り返る。	
解決する	<p><b>3 ゲストティーチャーの紹介をする。</b> ○今回のゲストティーチャーを紹介する。</p> <p><b>4 北広島町の少子高齢化事情について話を聞き、施設の必要性等について知る。</b> ○北広島町の少子高齢化の実態を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が町外へ住み、田畑はあっても高齢者だけでは活用できない現状がある。</li> <li>・社会で自分達が学習したように、農作物栽培の後継者がこのままではいなくなる。</li> <li>・一人のお年寄りに対する若者の比率が極端に低下している。</li> <li>・このままでは、そう遠くない未来に北広島町は過疎化を迎え深刻な事態になる。</li> </ul>	◇準備していただいた資料を活用しながら、北広島町の現状を考えさせる。	

<p style="writing-mode: vertical-rl;">深める・広げる</p> <p style="writing-mode: vertical-rl;">まとめる・つなげる</p>	<p><b>5</b> このような状況の中、<b>養護老人ホームではどのような活動をしているのかを話していただき、理解を深める。</b></p> <p>○職員の方の日々の仕事内容や、お年寄りとの関わりの中での喜びや発見、時には悩んでいることなどを伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務内容。</li> <li>・話し方の工夫。</li> <li>・お年寄りと関わる上で大切にしていること。</li> <li>・なぜこの職業を選んだのか。</li> <li>・困った時は、どのようにして解決しているのか。</li> <li>・この職業の魅力。</li> </ul> <p><b>6</b> <b>自分達の疑問をゲストティーチャーに質問し、理由を聞く。</b></p> <p>○交流会の振り返り時に記入したワークシートを活用し、様々な疑問の答えを見つけていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護士としての仕事についても質問する。</li> </ul> <p><b>7</b> <b>次回の交流に向けて、お年寄りとの関わりを行う上でアドバイスを頂く。</b></p> <p>○質問事項を踏まえながら、次回の交流会をより良いものにしていくためのアドバイスを頂く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し掛け方。</li> <li>・触れ合い方。</li> <li>・関わる上での心構え等。</li> </ul> <p><b>8</b> <b>児童代表がお礼を述べる。</b></p> <p>○今回の話の感想を踏まえながら、お礼を言う。</p>	<p>◇少子高齢化の視点から、家庭だけでは行えない介護サービスについて解説をしていただく。</p> <p>◇児童から、疑問に思ったことや今後に生かせるアドバイスについて質問させる。</p> <p>◇キャリア教育の視点から福祉について仕事観をもたせる。</p> <p>◆自分達が交流会で感じたことを記入したワークシートを使って、疑問を解決させる。</p> <p>◇次回の交流会に向けての見通しがもてるようなアドバイスをいただく。</p> <p>◇代表で述べる児童を決めておく。</p>	
---	---	---	--

	<p><b>9 振り返りをする。</b></p> <p>○学習したことで学んだことをワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の気持ちを考え、相手の立場に立った声掛けや関わり方が大切であると思った。</li> <li>・お年寄りに対してだけでなく、身近にいる家族や友達等に対しても、同じことが言えると感じました。</li> </ul>	<p>◇介護師の視点を生かした、次回の交流会に生かせる振り返りをさせる。</p>	<p>★【価値観・倫理観】</p> <p>交流会や課外授業を通して、職員の工夫や努力に気づき、相手の立場に立って行動することの大切さに気付くことができる。</p> <p>(授業観察, ワークシート, 他者評価)</p>
--	---	--	---